

【 】がひっそりと立っていた

「再会」 矢沢 幸



誰もいない

校庭をめぐって

松の下にきたら

【 】がひっそりと立っていた

私は黙って手をのばし

【 】も黙って手をのばし

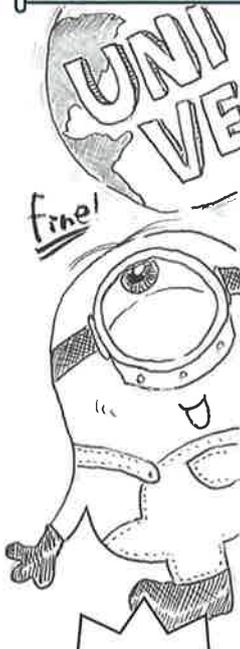
まばたきもせずに見つめ合った

◎詩集『光る砂漠』に入っている詩です。国語教師として授業に苦戦している23歳くらいのとき、「うつくしい詩に出会えた!」と感動したことを覚えています。

作者の矢沢幸は、21歳で持病のため生涯を閉じたそうです。病気治療で学校に行くこともできず、病室から季節の移り変わりを見るだけの日々。

ある日、病院の帰りに学校によってみたら、【 】と再会できたという一瞬を切り取っています。みなさんは【 】に何が入ると思いますか。ヒントは「擬人化」です。矢沢幸は、あるものを人に例えたのです。今の季節にじっくりと味わっていただきたい詩の紹介でした。※答えは裏です。

短歌でふりかえる修学旅行 (生徒の行動編)



- ◎金閣寺屋根の鳥を見て生徒「鶏がいる」「いいえ鳳凰」
- ◎(森)貫主から直接講話二十分「今年の漢字」のトリビアを知る
- ◎法テに着替える場所はここてよい? 真夏の寺本堂の隅
- ◎木刀を買ってみるか女子二人 出店の主人に割引交渉
- ◎「この二個で千五百円」と五人組 おでこのグラサンおしゃれにきめて
- ◎やきそばにギョーザにからあげチャーハンも思春期夕食だいたい茶色
- ◎「タべおれい子で二時には寝ましたよ」生徒よ素直でいいけど遅い
- ◎突然のバースデーソング運転手さんの生まれは今日だと知って合唱
- ◎「オレは無理」「おれは乗れるぞ」「オレやめる」「おれもやめるか」びびるなライド
- ◎「ハッピーハロウィーン」会計ごとに手をふられ多少ひきつり手をふってみる
- ◎じいちゃんに土産を買うのを忘れてた校長先生お金を貸して
- ◎三階建てのホテルですかと生徒の弁電気がついてる校舎を例え
- ◎三日間土産と思い出詰め込んでかばんはパンパン心もパンパン

(生徒作品は次回紹介します)

The Professional

プロ教師列伝その16 ~ 発問でゆさぶる ~



なぜト音になったのかな?

- ★教師「ト音はなんていう名前ですか。」
 - ◎生徒「ト音記号です。」
 - ★教師「そうですね。・・・ト音記号といいます。ところでなんでト音というのかな?」
 - ◎生徒「ん・・・えーと・・・?!」
 - ★教師「考えを隣の人と共有しましょう。」
- 音楽科の舟木教諭は、本校が取り組んでいる協同学習の導入として、このように発問で揺さぶりながら、生徒たちの思考を促します。1年生はすぐに仲間同士で話し合い、みんなで答えを導き出しました。

3コマ 日常写真劇場!

まだかな?



ぬりぬり作戦!



まかせろ!!



■杉村謙真さん(左)が待っていたのは、TV 中継で選挙公示を行った級友たちです。がんばりを賞賛できる姿が美ですね。■大原教諭(中)ははがれた壁のペンキ塗りしています。気づいたら即行動がモットーです。■右は体育祭りレーの一場面です。3年頼田さん⇒亀尾さんへのアンダーパスは見応えがありました。

七年前、車で京都に行く途中の話です。今回の修学旅行でも休憩をとるために停車した勝央PAで、ヒッチハイクをしている若者二人に出会いました。段ボールに「京都までお願いします。」と書かれていたので、何の気なしに「京都までならついでだから乗りなよ。」と言いつつ、二人を乗せました。

聞くと、茨城から来た大学四年生とのこと。就職が決まったので卒業前に西日本の観光地を巡っている最中でした。無事に一時間半後に希望地の伏見稲荷神社に到着。

すると慌ただしくお礼を述べたかと思ったら脱兎の如く姿が見えなくなりました。ちょっと不意をつかれて寂しくもありましたが、この二人はもしかしたら修行中の若い狐で、稲荷の神さまにいち早く修行の報告をしなきゃいけないかったのかな・・・そう考えたら可笑しくなってしまうました。

秋の京都の思い出です。



教頭
の名言

■あのおな、人間は二つの人が住んどるんだけん。・弱い自分と強い自分と。弱い自分になんよ! 自分に勝てよ。・って背中に書いてあるがなあ!!
(朝の駅伝練習で、走っている生徒に喝入れ)

あき
秋
とじ